



# 西覚寺だより

第十二号 年四回発刊

## 法要のご案内

● 日にち 七月十五日(木)

### ● 孟蘭盆会

時間 午前十時半 ～ 正午

内容 ・ 正信偈(草譜) 六首引き  
・ ご法話

※感染症対策のため「お斎」はありません。  
申し訳ありません。

### ● 物故者追悼法要

時間 午後一時半 ～ 午後三時頃

内容 ・ ご家族御焼香  
・ 正信偈(草譜) 六首引き  
・ ご法話

※別途ご案内させて頂きました物故者のご家族の皆様は、ぜひお参りください。  
物故者のご家族以外の方も、どうぞお参りください。

● 布教使 加藤学 師(三重県・中堅)

● 持ち物 必ずマスク着用の上、御参拝下さい

お念珠、門徒式章(お持ちの方)、  
御仏前(受付にお渡し下さい)

みなさま、ぜひお参り下さい!!

【コラム】(こりやかなな終わらんぞ?)

善人が救われるのなら、  
悪人が救われるの言うまでもない

(承前) 前回から、「歎異抄」というお書物の

「善人なをもて往生をとぐ、いはんや悪人をや。」

(意訳) 「善人さえも阿弥陀さまのお浄土へ生まれさせてもらう  
のだから、まして悪人はなおさらのことである。」



という一説について書いています。今回書きたいことは、ここにある「悪人」とはどういう人のことを言うのか、についてです。

私たちは、どういう人のことを「悪人」と思うのか。その人を「悪人」と思うということは、その人が「悪らしい行い」をしたからでしょう。つまり、どういう「行い」を「悪」だと思うのか。例えば、人を傷つける行為、これは「悪」だと誰もが認めることと思います。では、実際に行動に起こして人を傷つけるわけではなく、心の中で「あの人を傷つきたい」と思うだけなら、その人は「悪人」になるのか。基本的に現行の日本国憲法では「内心の自由」が守られており、心の中のことには罪に問われません。実際に罪に問われるのは、「行動」をしたときです。その基準でいけば、心の中で「あの人を傷つきたい」と思うことは、私たちの社会では罪に問われるような「悪」とはなりません。

仏教には「三業(さんごう)」という考え方があります。三業とは、身(しん)・口(く)・意(い)の三つの行為のことで、身に行う行為、口に言う行為、心に思う行為、の三つです。この三つ、どれにあらわれても、それは自らの業(ごう)となり、結果を伴います。悪業(あくごう)であれば、悪果(あくか)を引き起こすタネとなります。つまり、心に思うこと自体、すでに「悪い行い」と認定されてしまう。決して身に行わなくても、心に思った時点で「悪」となるのだ。仏教でとらえる「悪い行い」の範囲は、私たちが日常で考えているより、もっとずっと広いんですよ、と聞かせて頂いたことがあります。

親鸞聖人におかれては、心の中のことの方が大事だと思われるでしょうに感じます。親鸞聖人のご解釈にこういうものがあります。

「外に賢善精進の相を現すること得され、内に虚仮をいだければなり。」というお言葉です。「外見を善く装ったところで意味はない。内には清らかな真実など何も無いのだから。」ということ。比叡山でも、いくら僧侶として衣をまとい実直に修行をしても、我がこころの内の虚仮不実を見過ぎさなかつたのが親鸞聖人です。親鸞聖人は、「外よりも内」、「私のこころの内」を重んじられていたように思います。

では、私たちのこころの内はどうでしょう。身に行うことはなくても、こころの内を傷つけてはいないでしょうか。そのこころの内こそ大切なのです、と親鸞聖人は仰っています。(次号へ)



## 西覚寺 初参式並びに小学校入学祝いの会



6月6日(日) 14時から

西覚寺本堂にて、『第三回 初参式並びに小学校入学祝いの会』を催しました。

初参式とは、これからの人生の支えとなり、みなさんとともに人生を歩んでくださる『阿弥陀さま』に、親子そろって改めてご挨拶させていただく日です。この行事も三回目となりました。みなさまの中で、少しずつ定着して、今後のお祝いのタイミングで、お子様お孫様と気軽



にご参加くださる、そのような行事にしていければと思います。お宮参りだけでなく、ぜひお寺にもお祝いに来てくださいね。

当日は、3名の子どもが受式し、ご家族の皆さまと終始和やかな雰囲気でご過ごせました。受式してくれた子どもたちを紹介します。

「お寺に来たこと自体が初めて」という、とても貴重な時間を一緒に過ごすことができました。また、莉久さんは今までお寺の法要にも来てくれたことがありますが、改めて節目の年をお祝いすることができて、嬉しかったです。

当日参加してくれた子どもたちには、それぞれの年齢に合わせたお菓子の詰め合わせをプレゼント。そして、記念品もお配りしました。未就学児の子には、子ども用のお念珠を。黄色・水色・ピンクから好きな色を選んでもらいます。小学生の子には、西覚寺の名前入りの子ども用の門徒式章です。そして、中学生の子には、もう子ども用の門徒式章では小さいので、ご門徒の皆様と同じ、大人用の門徒式章をお渡ししました。みな、それぞれに喜んでくれていたように思います。

さて、来年は6月5日(日)を予定しています。みなさま、お子様お孫様連れて、ぜひご参加ください。

### ▽お盆の お参りについて△

お盆期間のお参りについて、以前からご協力をお願いしています。ことを、茲許ご縁を頂戴した方もいらっしゃると思いますので、改めてお知らせさせていただきます。

#### ● 8月12日

8月15日の間 基本的に、ご希望の

お日にちは承りませんが、時間についてはこちらで決めさせていただきます。一週間前にはお時間が決まっているかと思えますので、改めてお電話でご確認ください。

#### ● 8月12日

この日に関しては、従前から安城市外のお宅を重点的にお参りさせていた日にしており、安城市内の方は、できましたらご遠慮ください。

依然としてコロナの禍中ですが、お盆は亡き方を偲びお参りする、年に一回の大切な機会です。お近くにお住まいのご家族だけでも構いません。ぜひお参りさせて頂きましょう。今までお盆参りをされていない方も、どうぞご依頼ください！

### ◆ 住職の一言コーナー ◆

まずはご報告ですが、6月13日、「西覚寺責任役員並びに門徒総代会」を招集し、「2020年度活動報告ならびに決算」。「2021年度活動予定並びに予算」を上程し、適正な運営をご確認、ご承認いただきました。さて、前回のこのコーナーでお葬儀の「友引」について取り上げました。今回も引き続きお葬儀に関連することを。

昨年からは今年にかけて、安城市内以外にも様々なところでお葬儀を勤めさせていただきました。刈谷、知立、豊田、岡崎、西尾などの隣接市はもちろん、名古屋や大府、春日井、知多などへも参らせて頂きました。もともと安城にお住まいで引っ越された方など、今は離れたところにお住まいになられていても、こうして拙寺へご縁を頂けること、とてもありがたく、その往來の道中の尊さを感じています。

もちろん、日程や時間の調整などが必要になる場合もありますが、市外にお住まいでご縁を下さっている方も、まずはご遠慮なくご相談ください。



浄土真宗本願寺派  
**西覚寺**

安城市朝日町12-8

☎ 0566-76-3594

<http://saikakuji.sakura.ne.jp/wp/>